

## 静けさの中での記念礼拝

土橋 誠（埼玉地区委員長）

2013年3月11日午後2時から宇都宮上町教会で関東教区「東日本大震災」被災2周年記念礼拝が持たれました。宇都宮上町教会の庭から当日の空を見上げると、きれいな雲一つない真っ蒼な空が広がっていました。この美しい空を見上げていると、2年前の大震災の地震も津波も福島第一原発の放射能汚染も何もなかったかのような錯覚すら覚えるほどでした。しかし、あの時多くの命が失われ、今も、「これからの生活をどうしたらよいか」と辛い思いであるであろう被災者の方々の心を考えると、空の色が美しいだけに複雑な気持ちが致しました。

午後2時にはそれぞれの地から宇都宮上町教会に集いました。遠く台湾の地から日本の教会・被災者に慰めをもたらすために来られた台湾長老教会布興大立(プシン・ターリ)総会議長、そして共に来られた石橋秀雄教団議長、飯島信教団幹事、秋山徹教区議長はじめ関東教区35教会97名がその時を同じくしました。その中には兵庫教区の大仁田拓朗総会書記もおられました。

記念礼拝は飯塚拓也教区副議長の司式、矢嶋美華宇都宮上町教会信徒の奏楽によってはじめられました。讃美をし、リタニーによる祈りを共にし、秋山徹議長の説教が語られました。秋山議長は初めに宇都宮上町教会が被災した状況を語り、そして教区の被災教会について報告し、今日のこの記念礼拝は単に東日本大震災を想起するために行われたということだけではなく、今もその大震災による被災からの復興の途上にあることを覚えることが重要であると力強く語られました。説教の言葉を聴いた出席者もその思いを新たにさせられ、2013年3月11日からの被災支援の取り組みについて心を引き締める思いとさせられました。教団、教区、地区、各個教会・伝道所とそれぞれが為すべき業を為すことを祈りつつ礼拝を終えました。

礼拝後、台湾長老教会布興大立(プシン・ターリ)総会議長によって「あなたは何を蒔いたのか」と題してメッセージが語られました。台湾が日本から与えられた種(伝道の種など)が成長し、現代の台湾の教会の礎の一つになったことや、神ならぬものを神としようとする勢力に対抗しようとして来た日本の教会の姿が台湾の教会にとっても一つの種となったことなどが語られました。そして現代の台湾が問題としている四つ目の原発設置に対する教会の姿勢などについても語られました。

その後に兵庫教区大仁田拓朗総会書記の連帯の挨拶があり、出席者の熱い心や涙を注ぎつつも神に祈る静けさの中で記念礼拝のすべてのプログラムを終えました。



## 第9回東日本大震災支援委員会報告

小池正造（支援委員会）

「東日本大震災」被災2周年記念礼拝後、宇都宮上町教会で委員会がもたれました。最初に、秋山委員長より、教団世界宣教委員長として出席した国際会議で、日本が原発事故にどのように対応していくのか注目されていることを感じたという報告がなされました。奇しくも、記念礼拝の中で台湾長老教会布興総会議長も、今後の日本、また日本のキリスト教会の原子力発電への対応に注目しているとの発言がありました。

飯塚総括主任より、下館教会の現状報告がなされました。建て替え費用について、幼稚園舎に関しては私学振興財団からの借入を考えることでめどが立ちましたが、会堂牧師館部分については教団会堂・牧師館再建復興支援へ申請することになります。

金刺主事より、会計報告があり、前委員会からの一ヶ月で、約20万円の献金をいただいたことが報告されました。支出に関しては、ボランティア派遣費用などで、大きな支出はありませんでした。あわせてボランティア派遣については、交通費として、運賃の実費のみを支給することを確認いたしました。また、教団救援募金への関東教区内からの募金額は、37,468,163円です（1月末時点）。多くの献金に感謝いたします。目標額を達成し、被災各教会の会堂が再建されますよう今後ともご協力をお願いいたします。なお、11日の記念礼拝の献金（112,731円）は、教団被災救援募金に献げられました。

各地区から、①宇都宮教会の解体工事が決まったこと、②埼玉地区が主体になり被災地で祈りをあわせる旅第2弾を計画すること、③上尾合同教会が、継続的に食事ボランティアをしてくださっていることなどが報告されました。

桐生東部教会よりの教団への借入申請と、宇都宮教会・水戸中央教会よりの教団会堂・牧師館再建復興支援申請の状況が報告されました。

教団総会に向けて、1日目に改修教会・伝道所からの報告の時間をもつことを確認しました。復興再建への喜びを共有し、更に協力していけることを確認したいと思います。また、宣教部だよりで「原子力発電からの脱却を求める関東教区声明」が報告されていますが、放射能問題に関する議案を検討していくことが確認されました。

ボランティアについて、教区内に呼びかけ4月から6月にかけても継続して第3週に派遣をしていきます。なお、暖かくなりますので、屋外作業が増えてきます。また、4月になると新たにボランティア保険に加入する必要がありますので、お住まいの自治体にある社会福祉協議会で、必ずご加入の上、ご参加ください。ボランティア保険未加入の方は、仙台エマオを通しての現地派遣はできません。

### 日本基督教団東日本大震災救援募金

※現在の募金状況(2013年3月11日現在)

¥504,336,023 「東日本大震災救援募金」

¥233,771,283 「東日本大震災海外献金プロジェクト」

### 4月・5月のボランティア募集

4月15日（月）～19日（金）

5月20日（月）～24日（金）

問合せ 小林祥人 (090-3529-5140)

どしどしご応募ください